

## 令和7年度 農林水産祭 内閣総理大臣賞（女性の活躍）

### 徳永 順子さん（福岡県みやま市）



徳永氏は昭和56年に就農し、農業委員会会長を始め、様々な組織の役員や委員を務め、男女関係なく人々を巻き込んで地域の課題解決に取り組んでいる。

#### 耕作放棄地の解消

徳永氏は、平成14年に農業委員に就任以来、他の農業委員に声を掛け、農業委員が中心となって遊休農地の解消に取り組み、平成26年度から昨年度までに11.4haが解消された。再生した農地の一部には、景観改善のため菜の花栽培を導入し、なたねを使用したオイルやマスタードも開発した。



住民や地権者への説明会

#### 「山川みかん」産地継続に向けた土地基盤整備

令和4年に山川地区土地改良区理事となり、事業の勉強会、地権者や耕作者への同意を得るための説明会など200回を超える会議を実施し、果樹では福岡県初の農地中間管理機構関連農地整備事業による区画整理が行われ、基盤整備面積は全国屈指の約60haとなり、新たな入植者を含めた中心経営体への利用集積、経営規模の拡大等を支援し、将来にわたる「山川みかん」の産地継続を図った。



地元食材の6次化商品

#### 資源循環と女性活躍の場「ルフラン」

平成25年に市の環境審議会委員に就任した。生ごみをメタン発酵するバイオマスセンターで生成される液肥の農業への活用を進め、資源循環のまちづくりに寄与している。併設された食品加工室やカフェは交流拠点となり、同時に雇用創出の場となっている。ここでは起業を志す女性を市内外から受け入れ、5名が開業するなど施設を起点とした地域振興に繋がっている。



ルフラン